

本願寺西山別院報

久遠

-QUON-

第47号

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町
29番地
Tel:075-392-7939
Fax:075-394-4416
e-mail:nishiyamabetsuin@
msa.biglobe.ne.jp

本願寺西山別院輪番
得度習礼所・教師教修所所長
西山幼稚園園長

中原敬恵



謹んで 新春のお慶びを 申しあげます。

年齢を重ねるごとに一年が早く感じます。皆様はどんな二〇二二年を過ごされましたか？そして、どんな二〇二三年を過ごそうとお考えでしょうか？

年齢を重ねて時が過ぎるのが早く感じることを、「ジャーナーの法則」と言い、十歳の一年は人生の十分の一、五十歳の一年は人生の五十分の一となり、体感的に早く感じるそうです。さらに、子供のころは毎日学校に行ったり友達と



ご縁を慶び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

50
立教開宗
800

遊ぶことで、沢山の新しい楽しみや刺激があるのですが、大人になると知識や経験が増え、新しいことに出会うことが少なくなることも一因でしょうか。



本年は、宗祖親鸞聖人が御誕生になって八五〇年の節目の年であり、その御生涯は九〇年の時を刻まれました。時代を考えても大変ご長寿であったその御生涯は、九歳という幼い時に出家し、二十年もの長い間を比叡山で過ごされ、法然聖人に出遇われてからは、多くの苦難に逢着しながらもただひたすらにお念仏の道を歩まれました。親鸞聖人も、晩年は自分の人生が早く進んでいくように感じられていたのでしょうか。門弟たちに、もっと阿弥陀様のことを、お念仏のことを伝えたいと歩まれたご生涯は、便利になった現代では想像することさえ難しい歩みであったのではないのでしょうか。

親鸞聖人が今の私と同じ年だったところ、既に主著『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、多くの門弟たちに阿弥陀様から賜るお念仏について説いておられたと思うと、自分の至らなさはばかりが気になります。一年一年があつという間に過ぎていくと感じる今、この一瞬を生きている奇跡を慶びながら、至らない私もそのまま救うぞとお誓いくださった阿弥陀様にお任せし、皆様と親鸞聖人が御生涯をかけて私たちに伝えようとしてくださったことは何かと聴かせていただきながら過ごしていきたいと思えます。本願寺では本年三月二十九日（水）より「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が勤修されます。当別院からも五月八日（月）に団体参拝をさせていただきます。また、来年令和六年六月には当別院において慶讃法要をお勤めさせていただきます。お勤めをして、ご法話を聞いて過ごすだけではなく、多くの発見をしながら、お念仏と笑顔が溢れる期間にしたいと知恵を絞っております。一年が長く感じる子供たちに負けじと、多くの楽しみや刺激を求めながら、共に親鸞聖人がこの世にお生まれくださり、私たちにお念仏の教えを示してくださいましたことを慶ばさせていただきます。本年も、本願寺西山別院をどうぞよろしくお願いたします。



私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく

穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさにならず

しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく

人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき

日々精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように



上の段 左:職員 光林智勝・山高嵩 右:長尾祐大・大辻子佐知子
下の段 左:職員 亀井正章 中央:副輪番 平林相信 輪番 中原敬恵 右:石田彰信

謹賀新年

年頭の抱負

副輪番 平林相信

「特別な事」がしたいと考えてしま
いますが、それは「当たり前的事」
を当たり前以上に続けた先にあるも
のだそうです。心がけたいと思います。

石田彰信

十五年前の体型に戻ります！

光林智勝

今年はずき年です。飛躍の年と
も言われます。充実した一年にして
いきたいですね。

山高嵩

旧年中は大変お世話になりました。
昨年は夜更かしが過ぎましたので、
本年は「早く寝る」を目標にしたい
と思っております。

長尾祐大

読書百遍意自ずから通ず どんな
ことでも根気強く何度も挑戦します。

亀井正章

表無しの心で精進いたします！

大辻子佐知子

思春期の娘たちとの程よい距離感
の習得(特に中二の次女↑絶賛反抗
期中)今年も精進いたします。よろ
しく願います。

仏教婦人会

すみのぼう

「角坊 報恩講参拝」

十月七日(金)、角坊の報恩講に仏教婦人会三役の皆さまと参拝いたしました。

法要は、お勤めに引き続き本願寺派布教使の野田茜秀師よりご法話を頂きました。

法要終了後には、角坊仏教婦人会の皆さまも交えて記念撮影を行いました。

コロナの影響もございましたが、今後も状況の許す限り参拝させて頂きたいと思っております。



角坊仏教婦人会は角坊別院解散と共に一旦解散の後、再結成して現在も角坊において活動されております。

仏教婦人会研修旅行

十一月八日(火)、近江八幡を訪れました。参加者は、十一名でした。

午前には、八幡堀を船で巡りました。八幡堀は、安土・桃山時代に豊臣秀次(秀吉の甥)が築いたもので、堀は琵琶湖と繋がり、商業用の物資を運ぶ船が行き来し近江商人を支え、町の繁栄に大きな役割を果たしました。

午後からは、堀切港からの通船に乗って沖島へ向かいました。沖島は、琵琶湖に浮かぶ離島で、人口は約二百二十人。世界唯一の淡水湖上の小学校「沖島小学校」がある島でも知られています。その沖島には、浄土真宗本願寺派の寺院が二カ寺あり、今回は願證寺様を参拝させて頂きました。



沖島で記念写真



八幡堀巡り
歴史的情緒を残す街並みを満喫。



願證寺本多ご住職よりお寺の沿革や沖島の歴史、沖島の暮らしについて、お話を頂きました。

「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」-子どもたちを育むために-

書き損じハガキの 取り組み報告

うっかり宛先や文面を間違えて出せなくなったハガキや、未投函の年賀ハガキなどの「書き損じハガキ」、使っていない切手を寄付頂き、募金にかえて、貧困や紛争、学校が近くにないなど、さまざまな理由で学校に行けない世界の子どもたちに「学びの場」を広げてゆく「世界寺子屋運動」の取り組みを二〇二一(令和三年)十月から始めました。

この度の第二回書き損じハガキ回収キャンペーン(二〇二二年十月一日～十一月三十日)では、ハガキが一六五枚、切手が六枚、テレホンカード一枚、額面になると七三九円となり、ご寄付頂いた「書損じハガキと切手」は、日本ユネスコ協会連盟に送付いたしました。皆様のご協力で心から感謝いたします。有り難うございました。

今後も本堂正面に「書き損じハガキ」の収集ボックスを設置いたしますので、引き続きご協力のほど宜しくお願いいたします。



報恩講法要

報恩講は、浄土真宗の門信徒が一年間で最も大切にする仏事です。ご本山（西本願寺）の御正忌報恩講にさきがけて、当別院では、十月二十一日の幼稚園報恩講に始まり、二十二日、二十三日の三日間にわたり、報恩講法要を厳修いたしました。

三日間の参拝者は、西山幼稚園の園児を含めて延べ二百五十人以上で、二十三日の逮夜法要には、本願寺角坊より久野昌英主管のご参拝を賜りました。

お念仏の道をお示しくくださった親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜びをこの身に受け、中原輪番に合わせて参拝者一同が合掌し、声高らかにお念仏申しました。

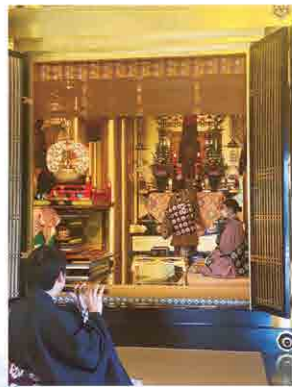
この度の報恩講法要にご参拝いただくことが出来なかつた方々へ、法要の様子をご紹介しますいただきます。



書院の生け花



御伝鈔拝読



祖師前焼香



日中法要「宗祖讃仰作法 音楽法要」



御俗姓拝読



雅楽の調べ



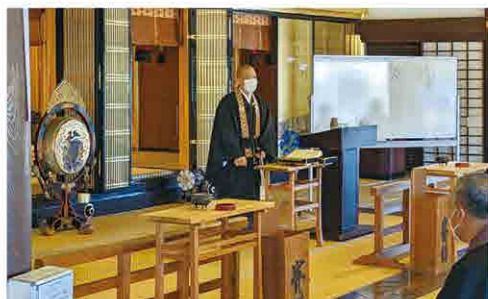
秋季彼岸会

令和四年九月二十三日（金曜日・秋分の日）、秋季彼岸会を厳修いたしました。孟蘭盆会と同様に分散型でお勤めし、本願寺派布教使 存行暢師（兵庫教区神戸東組圓通寺）より「かえる場所を持つ」を講題にご法話をいただきました。



存行暢師





報恩講法要講師
本願寺派布教使
京都教区 下東組
明覺寺住職
柱本 淳敬 師

私のいのちの理想と現実

「桜散るこぼるる梅に椿落つ牡丹崩れて舞うは菊なり」という詩があります。花それぞれのいのちの終わりを表現したもので、単純に「終わる」と言わないところに美しさを感じます。では、私たち人間はどうでしょうか。どのようないのちの終え方をしようか。

「ピンピンコロリ」といいます。今は元気（ピンピン）に過ごしていますが、次の瞬間にはいのち終えていく（コロリ）という在り方です。所謂健康寿命を重視したのかと思います。苦しまずに、家族に負担をかけることなくいのちを終える。確かに理想的な在り方かもしれません。

一方で、最期の時間を大切な方と一緒に過

していくという在り方もひとつの理想かもしれません。例えば末期がんになり緩和ケア病院に入院していくという在り方です。ホスピスと言われることも多い緩和ケアでは、がんに対する積極的治療をしていくのではなく、がんによる痛みを緩和しながら、臨終のそのときまでいかにその人らしく過ごしてもらえるかということに大切にします。死にゆく場所というより生きる場所というイメージです。そこでは家族の時間が生まれます。病室では懐かしい思い出話に花を咲かせたり、今までは言えなかった感謝の言葉が交わされたりします。病と付き合いながらではありませんが、大切な家族との時間を過ごしていく。これも理想的ないのちの終え方かもしれません。

しかし、私たちの理想は必ずしも実現するとは限りません。いつどこでどのようになっていくのか分からないのが私たちのいのちの現実です。そのようないのちを生きる私たちに「どのようないのちの終え方でも大丈夫だよ」というのが親鸞聖人が示された浄土真宗のお救いの大切なところではあります。

親鸞聖人は「まづ善信（親鸞）が身には、臨終の善悪をば申さず、信心決定のひとは、疑なければ正定聚に住することにて候ふなり」（『註釈版聖典』七七一頁）とおっしゃっています。

このお言葉は、親鸞聖人の御消息（お手紙）にあり、関東の門弟である乗信房という方へ宛てられた返書です。このお手紙が著された一六六〇年は、その前年から飢饉や災害が続き、日本中でたくさんの方が亡くなられたと言われて

います。親鸞聖人は老若男女が亡くなられたその現実を悲しまれるとともに、「南無阿弥陀仏のお念仏いただく者は、必ずお浄土に往き生まれる仲間と定まるのだから臨終の善悪を問わない」とおっしゃっています。このことは、「この世のいのち終えたあなたを必ずわが国に生まれさせる。どのような臨終を迎えようとも、あなたは仏になる身に定まっているから安心してその人生歩んでおくれ」という阿弥陀様のお喚び声を示してくださっています。

「臨終の善悪を問わない」というお言葉からは、理想的ないのちの終え方にならなくても大丈夫という大きな安心をいただけます。しかしそれだけではなく、誰かの臨終が善かった・悪かったということを問題とするのではなく、今自分自身が阿弥陀様のお救いに出遇えた慶びと大きな安心をいただきながら、お念仏の人生を歩みなさいという親鸞聖人のお心が感じられます。

つい私たちは誰かの人生やいのちを評価したり比べてしまっています。「あの人の最期はどうやった」「まだ若いのかわいそうに」などと他人のことは見えてしまい、肝心の私のいのちの問題になっていないことが多いように感じます。しかし、阿弥陀様のお喚び声は今この私のいのちに向けられたものであります。「いつでもどこでどうなってしまうか分からないあなたのいのちを放っておけない」という阿弥陀様のお心です。私のいのちの理想や現実を全て超えていくお慈悲のお心が恵まれていく。これが南無阿弥陀仏とお念仏申す人生だと味わわせていただきます。

幼稚園報恩講

十月二十一日は西山幼稚園の園児たちが報恩講のお参りをしました。今年には保護者の方も縁側から一緒にお参りいただきました。

始めに、年長のお友だちによる献灯献華献香、続いて大きな声で「きみよーむりよー」とお勤めをした後、園長先生からののさまたけや親鸞さまのお話を聞かせてもらいました。特にののさまたけのお立ち姿は少し前に傾いておられ、それはかけっこの「ヨイ」の姿勢と同じで、少しでも早く動いて私のそばに駆けつけてくださるのだと聞くと、同じポーズをとって納得顔。

「可愛い声での「なもあみだぶつ」に、ののさまたけも微笑んでいらっしやるようなあたたかい雰囲気の本堂いっぱいになりました。



「きみよーむりよー」



献華



献灯



園長先生のお話

西山幼稚園



感謝！保護者の方々が運動会のためにと清掃してくれました。



幼稚園運動会

十月五日・六日・十一日に学年別で運動会が開催されました。少し肌寒い気候でしたが、園児たちは元気いっぱいです。この日のために、先生やお友だちとたくさん練習をしてきたので、上手く出来るかドキドキしていましたね。

「ほとけさま」の歌でお参りをした後、「ワイワイうんどうかい」の体操で競技スタート。かけっこやダンス、個人競技にリレーと、白洲を目一杯走り回っていました。

一年ごとに出来ることが増え、競技も難しくなりますが、たくさんのお応援をもらって、最後は誇らしげに金メダルを貰いました。



パラバルーン
声と気持ちを一つにして

「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」-子どもたちを育むために-

「子どもたちの笑顔のために募金」のご報告と御礼

浄土真宗本願寺派(西本願寺)では、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」という理念のもと、『御同朋の社会をめざす運動』(実践運動)を推進しています。

その取り組みとして秋季彼岸会並びにぎんなん会フリーマーケット開催時に「子どもたちの笑顔のために募金」のご協力をお願いいたしましたところ、お心こもる多くの募金が寄せられました。

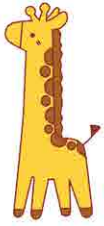
皆様からの募金は、浄土真宗本願寺派重点プロジェクト推進室を通じて、関係団体へ送られ国内外の子どもたちへの支援活動に充当されます。ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。





西山幼稚園の園児さんからお寺に可愛いメッセージが届きました。

西山幼稚園 自転車パレード



11がつ17にち(もくようび)
ほしぐみ9じ45ふん にじぐみ10じ15ふん
じてんしゃぱれーどがんばります

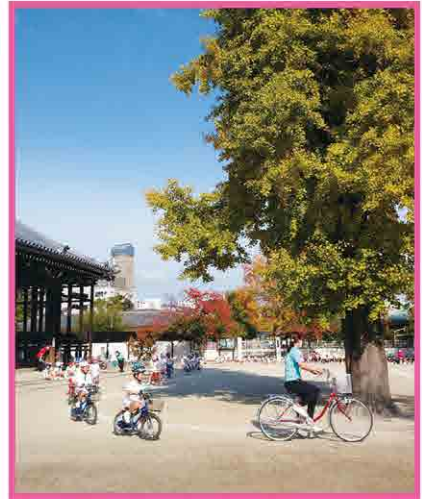


剪定していただきました。感謝！



十一月十六日
(水) 幼稚園の
園庭が綺麗に
なりました。
奉仕活動有
り難うござい
ます。

清掃活動



ぱんだ くらぶ

平成30年4月2日生まれ
～令和2年4月1日生まれ



こあら くらぶ

令和2年4月2日生まれ
～令和3年4月1日生まれ

活動日	2023(令和5)年	時間	10時～11時30分
	1月11日(水)、25日(水)	場所	大きな部屋
	2月 8日(水)、22日(水)	費用	無料
	3月 7日(火)		

事前予約制となっております。掲示板やHPでご確認下さい。



西山幼稚園では、未入园児の親子を対象とした親子教室(ぱんだくらぶ・こあらくらぶ)をしています。ぜひ遊びに来てください。

西山幼稚園 親子教室



本願寺西山別院

「親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年 慶讃法要」

修行について

法要期日 2024(令和6)年
6月22日(土)、23日(日)

二〇二三年に浄土真宗の開祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年をお迎えるにあたり、本願寺西山別院では、上記の通り「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」を修行いたします。詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご参拝ください。



団体参拝募集について

法要日時 2023(令和5)年5月8日(月)
午後の座14:00

場 所 龍谷山 本願寺

定 員 30名

申込締切 2023(令和5)年3月31日(金)
※但し、お申込受付は先着順とし、定員に達した場合は締め切ります。

申込方法 所定の「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、西山別院へFAXにてお申込ください。
※詳細については、本願寺西山別院まで、お問い合わせください。

法要期日 2023(令和5)年に5期30日間

- 【第1期】3月29日(水)～4月 3日(月) 6日間
- 【第2期】4月10日(月)～4月15日(土) 6日間
- 【第3期】4月24日(月)～4月29日(土) 6日間
- 【第4期】5月 6日(土)～5月11日(木) 6日間
- 【第5期】5月16日(火)～5月21日(日) 6日間



本山団体参拝

「親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年 慶讃法要」

本山・本願寺では二〇二三(令和五)年に親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要を厳修になられます。当院では、参拝団を編成し団体参拝を実施いたします。つきましては、次の通り募集をいたします。



✈ インド紀行 佛足に額づいて⑥

西山別院仏教婦人会会員
柳瀬千代子



一九八八(仏歴二五三二)年一月二十日〜二月三日
仏教の開祖である釈尊が、お生まれになり、悟りを開かれ、法を説かれ、入滅された地インド。日本人が古より「天竺」と仰いできたインド。かつては遠い遙かな国「天竺」も今では日本から飛行機で八時間ほど。釈尊の足跡を慕い巡拝された柳瀬千代子さんの紀行文です。

一月二十二日午後

尼蓮禪河にれんぜんが

お釈迦様が苦行を打ち切って 身体を清められたといわれる河です。夕日は今尼蓮禪河を染めています。赤い大きな夕陽がその河を染めています。



尼蓮禪河



菩提樹

一月二十二日夜

ガヤの町です ブッダガヤの手前の町です。世界中の佛教徒の集まる町です。人があふれ、店が立ち並び 子供達が群がります。日本寺に泊めていただきます。



ブッダガヤは夢に見た釈尊成道の地です。大ストウーパ(仏塔)の中に金色の佛様がおいでになります。涙が流れます 大地に伏して拝みます。よくぞ よくぞ この地球の上に 大願成就してくださいました。その地です、その地です、何という成就でしょう。

釈尊去って二千年今に、そしてこれからも世界の上に 人の上に 輝き続ける教えです。星降りし その輝きよりも いや増して 釈迦牟尼仏は 立ちてまします

母へ

私は今 佛様が悟りをひらかれた菩提樹の大きな大きな木の下で泣いています。泣けてくるんです。母が称えるお念佛、私が称えるお念佛、その一言が この地でこの樹の下で生まれたのだということを想えば大地にひれ伏しても足りない御苦労であります。



印度山日本寺

一月二十三日午前

「日本寺」の朝があけました。印度山日本寺で夜があける明星の中、おつとめに参加させていただきました。ここには若い日本の二人の禅僧が、現地の方達と共にお寺を守ってくださいっています。おごそかに おごそかに おつとめをいたしました。

その時 何という小鳥か 佛様のおつむの上にとまって じっとしているのです。本当に絵にみる様な光景です。これほど安全な場所がありません。尼蓮禪河にのぼる太陽を、表現出来ません。砂浜に三十頭位の牛が砂のぬくもりを求めて坐っています。牛を追う老人がいます。一幅の絵をみる想いがいたします。それでは、釈尊初転法輪の地ベナレスへ向かいます。



お寺で みんな SDGs



左から輪番、篠田さん(副部長)、栢さん、大垣さん、石垣さん(部長)、副輪番



綺麗なお花をたくさん持って来てくれました

桂駅前でお花やお野菜を元気に販売している高校生を知っていますか？
 彼らは京都府立桂高等学校の植物クリエイト科と園芸ビジネス科の生徒さん。丁寧な育てた綺麗なお花やピカピカのお野菜を一般に販売してくれています。
 以前、「西山別院の境内で販売して欲しい」と話をした事を覚えてくれていた生徒さんが十月のある日、寺務所を訪ねてくれました。この日持ってきてくれたのはガーデニングシクラメンと小菊とピオラと撫子。どのお花も丁寧に育てられた生き生きとした綺麗な花。「この品種は僕たちが作りました。」「これは弱いので植え替える時には少し消毒してください。」「この花は大きくなったらここを少し切ってください。」
 生徒さんの言葉は大切に育てた花への愛情があらわれていました。西山別院では小菊とピオラを購入。おかげ様で



花の手入れの仕方を熱く説明してくれました



西山別院が購入したピオラウサギの形の花が可愛いです♡



野菜も販売してくれました。境内は大賑わいに！園児たちも興味津々です。



写真では伝わらないかもしれませんが、本当に大きくて立派なキャベツなのです！甘くて美味しかったです。

境内がとても華やかに
 またその数日後、今度はお野菜を境内で販売してもらいました。キャベツもトマトもブロッコリーも大きくてピカピカ！幼稚園の子供たちも立派なお野菜にとってもびつくりしていました。
 桂高等学校の皆さま、嬉しいご縁をありがとうございます。
 世界中で環境破壊や食の安全の危機が危惧されている今、地域に根差した花や野菜を育ててくれる生徒さんがいることは本当に嬉しい事です。私たちに出来るSDGsこれからも地域と一体になって少しずつ続けていきたいですね。

京都府立桂高等学校

昭和二十三年に開校された普通科と農業系専門学科を併設する京都市西京区の高等学校。
 特に植物クリエイト科と園芸ビジネス科では植物の育種から生産・加工に至る知識、技術や野菜や草花の施設栽培・販売・農業基礎知識を学ばれています。
 以前より文部科学大臣賞の最優秀賞など数多く受賞されている桂高等学校ですが、令和四(二〇二二)年には懸崖菊(けんがく)の研究で第六回高校生科学教育大賞の最優秀賞を受賞されています。



中原輪番・平林副輪番・長尾の3名が参加いたしました。

特殊詐欺「私は大丈夫」が一番危ない！



十一月十日(木)、右京区にある角坊(西本願寺の飛地境内)にて、防犯教室が行われました。京都府右京警察署より脇田裕介巡査部長を講師にお迎えし、犯罪情勢や特殊詐欺被害状況、犯罪抑止政策などの防犯啓発について、分かりやすく教えていただきました。

防犯教室に参加しました！



電話相談窓 警察総合相談窓口#9110 消費者ホットライン188 (月曜日～金曜日9:00～17:45)祝日は除く

※(現代語訳:ご参照)

色美しく咲き誇っている花もいつかは散ってしまう 今を生きる私達にも いつまでも生きられるものではない この無常の世の中を今日も生きていく 悟りの世界に至れば 儚い夢に酔うことは無い

いろは歌

これは、**涅槃経**の四句の偈の和訳なんだ。

諸行無常 是生滅法 寂滅為樂

⑥ 涅槃経より

この「いろは」はカルタの元になってる。いろは歌って知ってる？

③



へ、世の無常をうたったものなんだ。そんな深い意味が表現されてたなんて...

⑦

いろは歌は、発音の異なる仮名物文字を七五調四句の歌にしたもの。昔は、寺小屋の手習いのお手本とされたりしたんだよ。

④



いろいろないろはカルタがあります。お正月はみんなでカルタいかがですか？

⑧ MARU

色は匂へど散りぬるを我が世誰ぞ常ならむ有為の奥山今日越えて浅き夢見し酔ひもせず(ん)

⑤



皆既月食×天王星食 2022年11月8日夜のお月さま



お寺でHAPPY 法輪www

こんな写真あんな写真

今回も別院職員からの別院あれこれ投稿です



今年もこの季節がやってきました。西山別院自慢の銀杏です！今年もたくさんの方に喜んで頂きました。銀杏は皮をむいて綺麗にしております。本当にありがとうございます。



昨年に引き続き、今年の報恩講も可愛い私の子がお参りにきてくれました。大きくなったね！(来年も待ってます!) 奈良市 さらちゃん 京都市 れんかちゃん



あなたのお便りや写真をお寄せください。

あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をどうぞお寄せください。

皆さまからお送り頂いた写真を掲載いたします。ご家族、風景、植物、可愛いペットなど

送り先 〒615-8107 京都市西京区川島北裏町29番地 本願寺西山別院「久遠お便り」係 e-mail: nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

投稿には、お名前(ニックネーム可)、ご住所、お電話番号をお忘れなく。作品は、必ずご紹介できる限りは、また、作品のご返却はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。



除却後



職員役宅

境内南門横の職員役宅が建築から九十余年が経過し、老朽化もあることから、除却工事を行いました。

ご報告

二〇二二(令和五)年法要日程

元旦会	一月一日(日)	午前七時より
春季彼岸会	三月二十一日(火・祝)	午前十時より
	四月二十二日(土)	速夜法要：午後二時より
覚祖会	四月二十三日(日)	初夜法要：時間未定 晨朝法要：午前七時より
	八月十四日(月)	日中法要：午前十時より
孟蘭盆会(本堂)	八月十四日(月)	午前九時三十分より
"(和合海)	"	午後二時より
秋季彼岸会	九月二十三日(土・祝)	午前十時より
	十月二十二日(日)	速夜法要：午後二時より
報恩講法要	十月二十三日(月)	初夜法要：時間未定 晨朝法要：午前七時より
"	"	日中法要：午前十時より
除夜会	十二月三十一日(日)	時間未定

※各法要日程につきましては、予定であり変更することがございますので、最新の法要案内をご確認ください。

二〇二二(令和五)年年回表

一周忌	二〇二二(令和四)年
三回忌	二〇二一(令和三)年
七回忌	二〇一七(平成二十九)年
十三回忌	二〇一一(平成二十三)年
十七回忌	二〇〇七(平成十九)年
二十五回忌	一九九九(平成十一)年
三十三回忌	一九九一(平成三)年
五十回忌	一九七四(昭和四十九)年

年回法要、ご命日のお参りをご希望の方は、この『年回表』と皆さまのお宅にある『過去帳』をご参照のうえ、事前に当別院までご連絡ください。

電話 〇七五・三九二・七九三九

